

学校食堂のモバイル オーダーシステム導入

モバイルオーダーシステムの構築と導入

LC II 情報班



高津高校

研究の動機

No.1

食堂利用者を対象にアンケートを実施したところ、その71.7%から食堂の予約にかかる時間が長いと回答があった。そこで我々は、食堂にモバイルオーダーシステムを導入することによって、予約にかかる手間を解消し、さらには食堂利用者の待ち時間の減少にもつながるのではないかと考え本研究を始めることとした。

研究手法について

No.2

我々が以前実施したアンケート調査の結果とモバイルオーダーシステム導入後に新たに実施するアンケート調査の結果を比較することで、システムの導入が予約の手間を従来よりも減らすことができるのかを分析する。

また、現時点での食堂では待ち時間がどの程度発生するのかというデータを集めるため、食堂に出向き、ストップウォッチを使って複数人の待ち時間を計測する。システム導入後にも同様に計測を行い、現時点のデータと比較することでシステムの効果を検証する。

進捗について

No.3

現時点でシステムは完成しており、あとは導入を待つのみといった状況。まだまだデータ数が不足しているので、システム導入前の待ち時間の計測は今も継続して行っている。

仮説

利用者の予約がより手軽になることで食堂の売上が増大するのではないか。

また、これまで予約ではなくその場で注文していた利用者がモバイルオーダーを利用するようになることで、食堂の待ち時間短縮につながるのではないか。

システムの詳細

GAS(Google Apps Script)というプログラミング言語を用いて開発。利用者がフォームで選択した情報がSpread Sheetに記録されていき、食堂側は一目で注文の一覧を確認できる。